

教育広報

かけはし

第33号 平成10年3月13日発行
発行 千代田区教育委員会



「神田さくら館」オープン

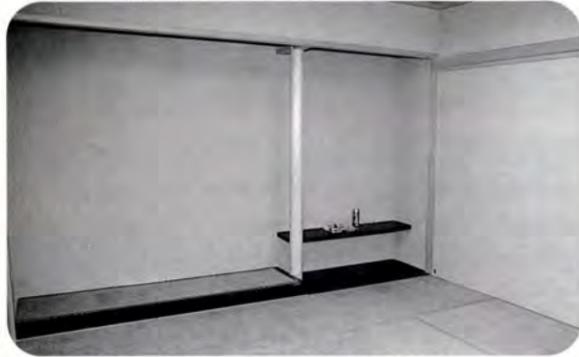
主
な
記
事

- ☆ 「神田さくら館」竣工・オープン
- ☆ ウェストミンスターの思い出
- ☆ 地域に支えられる子供たち(その3)
- ☆ 麴町・一橋・今川・練成中学校が
創立50周年を祝う

一昨年の昌平童夢館に引き続き、「神田さくら館」が3月3日にオープンしました。ここを新校舎・新園舎として使用する千代田小学校と千代田幼稚園の子供たちの元気な声が響きわたるのも、もう間もなくです。

*教育広報「かけはし」は資源保護のため再生紙を使用しています。

神田さくら館



▲ 和室も備えた家庭科室



▲ 水深が調整できる温水プール



▲ 楽しい遊具も整った校庭・園庭

教育研究所

☎(025)68446

これまで、ちよだパークサイドプラザと総合体育館内に分かれて設置されていた教育研究所は、神田さくら館六・七階で業務を開始しています。専用エレベーターで六階に上がると、受付・事務室のほか、相談室や「白鳥教室」などが配置されています。七階には、百人規模の研修室、コンピュータ室、情報資料室などが配置されています。

*教育研究所の代表電話番号は変わりましたが、教育相談の電話番号は従来どおり☎(3256)8140です。



▲ 気軽にご利用いただけるまちかど図書館

神田まちかど図書館

☎(025)60001

神田まちかど図書館は、三月三日からオープンしています。休館日を除き、毎日午前九時から午後十時まで利用できます。

施設東側の入口から入り、受付カウンターの前を通ると、約二万冊の図書や新聞、雑誌、ビデオ、CDが配架されています。検索用コンピュータでは、区立図書館の資料が検索でき、カウンターに申し込めば、千代田図書館をはじめ他館にある図書などの取り寄せもできます。



▲ 100名規模で利用できる研修室



▲ 教育研究所のプレイルーム

施設の一般利用

夜間や休日などには、研修室、プール、体育館、校庭、特別教室などを開放しています。利用できる施設、料金、利用方法などは、神田まちかど図書館または生涯学習振興課 ☎(025)42841へお問い合わせください。

竣工・オープン！



▲ 学年ホールと一体になった教室

千代田小学校、千代田幼稚園は、春休みに移転作業を行い、四月の新学期から新校舎・新園舎で活動を開始します。小学校の入口を入ると、昇降口から広がる多目的ホールが目飛び込んできます。三・四階に配置された普通教室は、隣接する学年ホールと一体的に

千代田小学校 千代田幼稚園

☎(025)617009

☎(025)607688

新しいコミュニティスクール「神田さくら館」(神田司町二丁目複合施設)が完成しました。三月二日に落成式を開催し、翌三日から一部を除きオープンし、温水プールや図書館、集会にも便利な研修室などが広く一般開放されています。今号では、神田さくら館を構成する千代田小学校、千代田幼稚園、教育研究所、神田まちかど図書館の概要を紹介します。



▲ 設備の整った理科室

多様な活動ができるオープンな構造になっています。三階には心身障害学級のさまざまな教室も配置され、教育研究所との連携も取りながら、障害児教育の充実を図っていきます。五階には国際理解教室やコンピュータ室をはじめとする特別教室が配置されています。この施設の特徴の一つは、校庭・園庭が二階にあることです。幼稚園の保育室は、この校庭・園庭に面して南向きに配置され、昇降式舞台のある遊戯室などとともに、新学期からの「預かり保育」の試行に備えています。

施設の概要

(所在地：神田司町2-16)

7階	教育研究所	研修室、AVライブラリー、情報資料室、コンピュータ室など
6階	教育研究所	電話相談室、白鳥教室、相談室(6室)、プレイルーム(3室)、事務室など
5階		音楽室、コンピュータ室、理科室、国際理解教室、図工室、会議室など
4階	小学校	普通教室(8室)、学年ホール、放送室、児童会室など
3階		普通教室(4室)、学年ホール、保健室、心障学級教室、個別学習室、プレイルームなど
2階	小学校	校長室、職員室、事務室、印刷室など
	幼稚園	保育室(3室)、遊戯室、職員室など
1階	小学校	ホール、多目的ホール、ランチルーム、図書室、家庭科室、受付など
	幼稚園	ホール、会議室、受付など
	教育研究所	ホール
	まちかど図書館	
	駐車スペース	
地下1階	小学校	体育館(講堂)、記念室、給食調理室、防災用備蓄倉庫など
地下2階	小学校	25メートル温水プール(4コース可動床)、幼児用プール、ジャグジーなど

(駐輪場は、幼稚園とまちかど図書館の入口付近にあります)

ウエストミンスターの思い出

千代田区立中学校生徒のウエストミンスター市への派遣も、今年で3回目、ホームステイを通して英国の家庭生活を直接体験したり、市立学校での学習や、ロンドン市内の見学をしたりすることが主な内容です。ホストファミリーなどとの心の交流により、国際理解や友好親善の成果を十分にあげて帰国しました。今回派遣された中学生たちの帰国後の感想を紹介します。

○学校で生徒たちの様子を見てみると、自分からやらないと何ことも進んでいかないということが伝わってきた。将来やりたいことが決まっています、そのための勉強をする意欲がとても高いことに驚いた。

○日本について考えさせられた。自分の国のことなのに知らないことがたくさんあることが分かった。

○授業を見ていて、自分の意見をはっきり言い、自分から学ぶという姿勢を持つことが必要だと思った。

○学校生活では、「やることはやる」というけじめがついていた。服装は自由（標準服はある）で個性を主張しているという感じがした。

○家族の人たちは、日本語にとっても興味があり、教えてあげた日本語を使ってくれた。土曜日も日曜日も教会に行った。

○私の行った家は、躰しつけが厳しく小さい子が夕食を残したらデザートは食べさせなかった。食事の前にいつもお祈

りをしていた。共働きの家だったが、父親がかなり協力的で食事の用意をしたり、お弁当も作ってくれたりした。

○今回のホームステイでは、失敗を恐れて黙ってはいは意味がないと思ったので、とにかく英語を積極的に使おうと思ひ、できるだけ多くホストファミリーと会話をするように努力した。

○オックスフォードの大学を見学して興味を持ったのは、チュートリアルという授業形式と、すごく恵まれた教育環境だ。チュートリアルというのは、週1回1時間の1対1の授業のことで、学生はそのため1週間がかりで準備をするそうだ。

○イギリスと日本のシステムや考え方、もののとらえ方の違いなど、たくさんのことを学び、素晴らしい経験ができたと思う。

○このプログラムに参加できて、自分がこれからやっていくことすべてに視野が広がったと思う。



▲ お別れ会で再会を誓い合う

派遣中学生

麴町中	菅野	納田	賢津	人美
九段中	小宮	田野	菜奈	中央
一橋中	川望	川上	悠弥	登里
今川中	田渡	田部	綾宏	子介
練成中	笹角	笹嶋	雄彩	彩



▲ オックスフォードの大学を見学

やったね！
受賞おめでとう

番町小学校四年堀田奈緒美さんの作成したポスターが、「平成九年度明るい選挙啓発ポスターコンクール」で文部大臣・自治大臣賞を受賞しました。



九段中の英語劇が「東京都英語学芸発表会」で三位に入賞

昨年十二月七日に、中野区にある宝仙学園の講堂において、第五十回東京都英語学芸発表会が行われました。区内の中学校五校を代表して出場した九段中学校は、全出場校十四校のうち第三位に入賞しました。

上演したものは、地球環境をテーマにした「ガイア97 僕達の地球」という劇で、明瞭で正確な英会話と、演技の確かさが認められたということです。日頃のたゆまぬ英語学習と熱心な練習が実ったものと喜んでいきます。

生活用具のうつりかわりー蓄音機ー

蓄音機というのは、レコードを使って音を録音・再生する機械のことです。エジソンによって1877年に最初に発明されたものは、スズ箔を張った円筒の、スズ箔の部分に凸凹のみぞをつけて音を録音、再生する機械でした。1885年には、スズ箔の代わりにロウを塗った口ウ管式が出現し、日本では、1897(明治30)年ごろに、ロウ管レコードが輸入されました。やがて1887年に、ベルリナーによって現在のレコードと同じ形の平円盤のレコードが発明され、複製が可能になりました。

日本では1909(明治42)年に日本蓄音器機商会(日本コロムビア株式会社の前身)が設立され、国産レコードの生産が開始されました。当時発売されていたレコードの内容は、浪花節や女義太夫とい

「昔は子供たちが多少のいたずらをして、ある程度許してもらえました。初めから何でもだめだと言うのではなく、ある程度積極的に経験させて、子供が悪いことをしたら、それを繰り返させないようにきちんと聞いて聞かせることが大切です。そのためにも親として子供と接する時間を多くもつことが大切で、私も仕事の忙しい中、子供との時間を多くつくろうと努力しています。」

最後に、今後の抱負をお願いします。

「私は青年会の地域活動を通じて、多くの方と顔見知りになることができましたし、地元への愛着もより強くなりました。子供たちが大人になつた時に、この地域活動を思い出して、是非とも後に続いてほしいと思います。」

子供たちの保護者に対して感じていることはありますか。

「昔は子供たちが多少のいたずらをして、ある程度許してもらえました。初めから何でもだめだと言うのではなく、ある程度積極的に経験させて、子供が悪いことをしたら、それを繰り返させないようにきちんと聞いて聞かせることが大切です。そのためにも親として子供と接する時間を多くもつことが大切で、私も仕事の忙しい中、子供との時間を多くつくろうと努力しています。」

今回は、九段地区の小学生とお祭りなどの地域交流活動をされている、九段四丁目青年会の坂口智也さんにお話を伺いました。

最初に青年会の活動についてお聞かせください。

「地域活動としては、東郷元帥記念公園での縁日広場、日枝神社の大祭の参加などの他に、『九段こども火の用心』を毎年実施しています。青年会は地元で商売をされている若い方が中心になって、子供たちと一緒に活動して親睦を深めることを目標にしています。」

最近の子供たちをご覧になって、どのようにお感じになりますか。

「近頃の子供たちは、テレビゲームなどの影響なのででしょうか、親子や兄弟同士でも言葉使いが悪くなつたように思います。それに塾通いに忙しく、時間的にも精神的にも余裕がなくそれぞれしています。もう少し自分の頭で考えて行動できるように子供になってもらいたいです。」

青年会の活動を通じて、子供たちに特に注意していることはありますか。

「子供たちには挨拶の大切さを教えています。地元の方への挨拶をきちんとすることで、自然に地域に受け入れられて地元とのつながりも広がります。幸いにも私の周囲の子供たちは、挨拶の必要性を大人がきちんと説明すると、素直に受

シリーズ 地域に支えられる子供たち(その3)

— 地域に愛着をもてる子供 — 「九段四丁目青年会」



▲ 蓄音機

総合体育館と内神田社会教育会館が休館します

教育会館が休館します

総合体育館と内神田社会教育会館は、平成十年四月一日から十一月三十日まで、改修工事のため休館します。リフレッシュされた施設にごそご期待ください。

スポーツ振興課

生涯学習振興課

TEL 32642841

数学的に考えることの楽しさ

「入学してしばらくは算数が楽しかったのに、そのうち分からなくなって今では嫌いな教科になってしまった」という子供たちの声をよく聞くことがあります。そこで算数や数学を好きになるためにどのようにしたらよいか、当区教育委員会の子安 茂指導主事に説明してもらいました。

1 「成績」は世界第3位、「好き」は第37位

平成7年に実施された、39ヶ国の中学2年生15万人が参加した国際数学教育調査によると、日本は数学の得点では、世界第3位の好成績をあげていますが「数学が好き」と答えた生徒の割合は第37位です。

参考のために他の国をみてみますと、

【数学の得点】			
1位	シンガポール	(好き 3位)	
2位	韓国	(好き 34位)	
【数学が好き】			
1位	イラン	(得点 37位)	
2位	クウェート	(得点 38位)	

2 小学校4、5年が好き嫌いの分岐点か？

数学検定協会が実施した調査結果をみますと、

- ・算数が好きになった時期 小1、小4、小5
 - ・算数が嫌いになった時期 小4、小5
- 好きになった理由は、
- ・問題を解くのがおもしろい(小、中学生)
 - ・問題が解けたときの快感がすばらしい(高校生)

が最も多く、「先生の教え方がよかった」が続いています。

子供たちにとって、算数・数学のよさや楽しさに触れるよい問題や、教え方の上手な先生との出会いが大きなきっかけとなっているようです。

3 算数・数学が好きになるために

算数・数学が嫌いな子を好きにさせるためには、子供に接する態度や姿勢など、前提条件がありますが、ポイントをいくつかあげてみたいと思います。

- ① どんな小さなことでも、わかったことやできた喜びを大切に、認め、励ますこと
- ② ゲームの持つ熱狂性を生かすこと
- ③ 知的好奇心に訴えること
- ④ 何のために算数・数学を学ぶのか、「学習に対する必要感」を明らかにすること
- ⑤ 数学的な考え方のよさを味わえるようにすることなどです。具体例をあげましょう。

(1) 数遊びを楽しみましょう

算数・数学が好きになる理由として、数遊びなどのゲームを通して、数のもつ不思議さや美しさに感動したことをあげる人も少なくありません。

例えば、1～9までの数を1回ずつ使って、差が次のようになるようにしましょう。

1 3 5 7 9	〇〇〇〇〇
- 2 4 6 8	- 〇〇〇〇
-----	-----
1 1 1 1 1	3 3 3 3 3
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
- 〇〇〇〇	- 〇〇〇〇
-----	-----
5 5 5 5 5	7 7 7 7 7

(2) 複雑なものは簡単にして考えましょう

4 - 4 + 4 - 4 = 0	3 - 3 + 3 - 3 = 0
4 ÷ 4 + 4 - 4 = 1	3 ÷ 3 + 3 - 3 = 1
・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・
・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・
・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・
4 4 4 4 = 10	3 3 3 3 = 10

「+ - × ÷」等の記号を入れて、10までつくってみましょう。

いわゆる「Four Fours」というゲームで、右はその応用です。4個の3の方がきれいにできますので挑戦してみてください。

試行錯誤を大切にしますが、「複雑なものは簡単にして考えればよい」という数学的な考え方をします。

2個の3で考えると、3 + 3 = 6、3 - 3 = 0
3 × 3 = 9、3 ÷ 3 = 1 の4通りできます。これらを組み合わせると、簡単にできます。

4 終わりに

複雑で難しい問題は、逆向きに考えたり、何かに置き換えて考えたりすると、簡単に解けることがあります。数学的に考えることの楽しさが味わえると、一層好きになることでしょう。

きょういく 随想

能楽の家元後継者の修行ドキュメントが放映された。初めてシテ(主役)を舞う日が近づき、猛稽古が続く。師である父は容赦ない叱声を飛ばす。弟子である子(八歳)は目に涙を溜めながら、健気に同じ所作を繰り返す。母は稽古に口出しできない。ソット見守るだけ……。

稽古終了。両手をついて師への挨拶を済ませた子は、まっしぐらに母の胸に飛び付きウワッと号泣する。無言で抱き締める母の頬も涙で濡れている。思わず目頭が熱くなる劇的なシーンだった。

まさに「教育原理」としての「父性」と「母性」の原型を見る思いがした。だが能を離れば、釣り堀で並んで釣りを楽しむ屈託のない父子だ。母も優しいだけではない。身なりや作法等、流派のしきたりを伝えるときは厳格な母だ。一人二役の見事な父母連携である。

父性は？ こちらも重症に見える。では母性は？ こちらは母性に見える。人工保育の子ザルは、身体の発育は順調でも落ち着きがなく、ちよつとした刺激でヒステリー状態に陥る。そこで代用ママ(丸めた毛布等)を置くと、少しはイライラが緩和されるといふ。ザルの保育に学べば母性の重要な要素は、子供が強い精神的なショックを受けたとき、「しがみつく」温かくて柔らかいものとなる。「母の胸」は最高の「精神の避難所」だ。

心の安らぎがなければ繊細な「情」(優しさ・慎み等)や強い「意」(勤勉・我慢等)、高い「道徳性」(正義献身等)は育たない。飛び込む場所なら「父の膝」でもいい。が、一般に父は語る(理)による説得はできても、泣くこと(情)による共感はない。心の安らぎでは母の胸の方が優位だ。ただし「ヤマアラシ・ジレンマ」



抱き締める 見守る

—心の安らぎと母性原理—

横山 安宏



には要注意。寒夜、ヤマアラシの親(母)子が暖を取ろうとして強く抱き合えば、鋭い針でお互いに相手の体を傷つける。愛情も過ぎれば、子供の自立を妨げる。緊急事態は減多にない。肝心なのは普段だ。短時間でいいから、親子のホンネの会話を持つことが大切である。母性原理で次に挙げたいのは「見守る」

こと。漢字の「親」を分解すれば「木」の上「立」って「見ると読める。口や手よりまず目だ。身なりや化粧、所持品、帰宅時刻等に注意すること。危険な兆候を見逃す(母性の喪失)、見ても見ぬ振りをする(父性の欠如)、それは「親権」(民法)の放棄に等しいのでは? と思考。

遠方ながら母は見えておらず——京都で勉学中の本居宣長(江戸時代の国学者)に送った、母の手紙の一節である。宣長は母の顔を思い浮かべて、強い緊張感を覚えたに違いない。「心のブレーキ」としての父性的な教訓や激励の言葉は、幼い日の「母なるもの」の記憶が加わることによって、一段とその働きを強める。

高度情報化社会だ。子供達の周りには情報があふれている。一般に良質な情報より低俗な情報の方が、賑やかでケバケバしい。精神状態が不安定で心のブレーキが弱ければ、子供は低俗化の波に飲み込まれる。大人がビククリするような青少年が増えたことは確かだ。若者の姿はその社会の「未来を映す鏡」だという。とすれば日本の前途が心配になる。

父性の復権と母性の蘇生——両者は表裏一体、揃って現実のものにしなければならぬ緊急課題である。

よこやま やすひろ

千代田区教育委員
元麴町小学校長・幼稚園長

編集後記

今年度は、昭和二十二年の新学制(六・三制)とともに新制中学校として発足し、五十周年を迎えた学校が本区では四校あります。(練成中は二十三年二月)

創立当時の写真や資料を見るにつけ、この五十年間の東京や千代田区の街の変貌ぶりに、ただ驚くばかりです。戦後の混乱期に学校を開き運営していくことがいかに困難なことだったかを改めて感じます。そして当時の先生方や関係者の方々のご労苦に頭の下がる思いがします。

さて、「神田さくら館」が竣工されています。この施設には教育研究所も併置されていますが、従来二か所に分かれていた「調査研究部」と「教育相談部」がここで一つにまとまりました。特に「教育相談部」は、教育上のカウンセリングと不登校児のための「白鳥教室」が主な仕事です。子供の教育の問題でお悩みの方は、遠慮なくご相談ください。

今年度もいよいよ大詰めです。子供たちもこの一年間をふりかえり、やり残したことを新たな年度のめあてに加え、希望を持って進んでほしいと思います。なお前号の教育随想の文中で、「寺田寅彦」の「寅」の字が「虎」になっておりましたので、お詫びいたします。

教育広報「かけし」第三十三号

平成10年3月13日発行

編集発行/千代田区教育委員会

〒102-8688 千代田区九段南1-6-11

☎(3)264-0151 内3114

お め で と う

創立50周年を迎えた麴町・一橋・今川・練成中学校

麴町・一橋・今川・練成の各中学校は、昭和22年度に新制中学校として誕生してから今年度で創立50周年を迎え、記念式典が開催されました。心身共に健全な生徒の育成をめざし教育内容の充実につとめます。これからも皆様方のお力添えをよろしくお願いいたします。



LL教室での授業（麴町中学校）
昭和38年には早々とLL教室（英語演習室）が完成し、英語の発音の効果的な学習ができました。



昼休みのフォークダンス（一橋中学校）
昭和40年代昼休みの時間には、生徒は校庭に出て、盛んにフォークダンスを楽しんでいました。



運動会の騎馬戦（今川中学校）
昭和29年、北の丸グランドで行われた運動会では、騎馬戦が最も人気の高い種目でした。



演劇部の演劇披露（練成中学校）
昭和38年、生徒の主催で、演劇や合唱などの文化活動を行い、日頃の練習成果を披露しました。

年	月	主なできごと
1947 (昭和22)	年3月	麴町区と神田区を合併し、千代田区が発足。教育基本法、学校教育法が公布。
1948 (昭和23)	年2月	練成中学校が芳林小学校内に開校。
1952 (昭和27)	年11月	練成中学校が現在地に移転。
1953 (昭和28)	年4月	千代田区教育委員会が発足。
1955 (昭和30)	年9月	練成中学校が現校舎に移転。
1956 (昭和31)	年7月	九段中学校が現校舎に移転。
1962 (昭和37)	年12月	軽井沢高原学校が完成。
1964 (昭和39)	年11月	区立小・中学校の暖房を石炭から都市ガスに切り替え。
1969 (昭和44)	年4月	保田臨海学園が完成。
1978 (昭和53)	年6月	全児童生徒の教科書の無償化が完了。
1982 (昭和57)	年9月	練成中学校新校舎が完成。
1984 (昭和59)	年3月	一橋中学校新校舎が完成。
1986 (昭和61)	年7月	「教育と文化のまち千代田区宣言」が行われる。
1988 (昭和63)	年5月	軽井沢少年自然の家が完成。
1992 (平成4)	年9月	伊豆大島の三原山が噴火。大島町の児童・生徒が区立小・中学校に緊急転入学。
1993 (平成5)	年4月	ニューヨーク市パウロ中学校と海外交流教育を開始。
1995 (平成7)	年10月	区立各学校で学校週5日制を導入。（当初は第2土曜日を休業）
1996 (平成8)	年4月	区立小学校・幼稚園の適正規模化・適正配置を実施し、8校8園が新たに発足。
1997 (平成9)	年5月	イギリスウエストミンスター市立学校と海外交流教育を開始。
1998 (平成10)	年3月	教育研究所に適応指導のための「白鳥教室」を開設。
1998 (平成10)	年3月	ウエストミンスター市立学校生徒10名が千代田区を訪問。
1998 (平成10)	年3月	昌平童夢館が完成。
1998 (平成10)	年3月	区立中学校の在校生数は1551人。
1998 (平成10)	年3月	区立中学校全5校に新型パソコンを各42台設置完了。
1998 (平成10)	年3月	神田さくら館が完成。

区立中学校五十年の歩み